



立神峡だより

秋は楽しく仲間と野外でバーベキュー

本格的な秋を迎え、仲間と野外でバーベキューを楽しむ機会が増えてきました。

最近では、コロナの影響でステイホームということで、野外での活動を自粛している人たちが多く、消費も落ち込む状況にあります。

立神峡には、火の広場を中心にキャンプサイトなどでデイキャンプやバーベキューを楽しもうと、遠くは福岡県や熊本市内から訪れ、密を避けながら、空気の綺麗な場所で仲間と楽しく過ごす人が増えています。

特に最近では、川遊びをしながら家族や仲間や友人と野外で過ごすアウトドアがブームで、立神峡は年々、申し込みが増えている状況です。

ここでは多くの出会いもあり、氷川町の独身男性・女性も出会いの場を求めて訪れてはいかがですか。



年々彩を増す紅葉の立神峡

今年の立神峡の紅葉は、昨年と比べて紅葉樹の本数が増えており、以前にも増して、鮮やかな紅葉が楽しめるのではないのでしょうか。

紅葉の木を寄付していただいたり、相当数の紅葉の木を植樹するなどして、今年の秋に備えてきました。

また、今回はコロナの影響で氷川町の小学校6年生を対象とした宿泊通学は中止となりましたが、子どもたちにそれぞれ紅葉の幼木を人数分準備し、公園内の山々に植樹して、「自分の成長とともに木も大きく育つように。」と願いを込めて準備をしております。

将来にわたり、継続的に広葉樹を増やす計画です。

秋の紅葉を求めて、各地を訪れる観光客が、「立神峡の自然と紅葉は最高だ。」と言わしめるように、スタッフ一同、管理運営に頑張っています。

町民の皆さまのお越しをお待ちしています。



【お問い合わせ先】 立神峡公園管理棟
☎ 0965-62-1543 FAX0965-62-1546 (8:30~17:30 火曜定休日)

未就学児子育て情報

内容	日時	場所	対象者
4か月児健診	10月27日(火)	健康センター	令和2年6月生まれ
7か月児健診	12時30分~		令和2年3月生まれ
3歳児健診	10月20日(火)	健康センター	平成29年8月・9月生まれ
母子手帳交付	毎週月曜		妊婦

☎ 町民課 保健予防係(健康センター) ☎0965-52-7154



八火図書館だより

新着図書	
一般書	児童書
一人称単数 村上 春樹/著	ねぐせのしくみ ヨシタケシンスケ/著
女帝小池百合子 石井 妙子/著	サンキュー、ヒーロー P.ヘガティ/文
二百番館によろこ 加納 朋子/著	ナゾトキスクール 松丸 亮吾/監修
桔梗の旗明智光秀と光慶 谷津 矢車/著	ホテルのアダムとほしぞらパーティー 香川 照之/作
くまもの戦争遺産戦後75年平和を祈って 高谷 和生/著	それは日本と逆!?文化のちがひ習慣のちがひ 須藤 健一/監修

読書の秋だ、本を読もう!!

今年で74回目となる読書週間(10月27日~11月9日)。今回の標語は『ラストページまで駆け抜けて』です。

読むスピードが早くても遅くても大丈夫!!自分のペースで一冊の物語を駆け抜けてみませんか?

【お知らせ】

例年11月に実施しておりました文学散歩は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。申し訳ございませんが、次回以降のご参加をお待ちしております。

【お問い合わせ先】

八火図書館 ☎0965-62-3489

「人が尊重され、生きがいを感じられるあたたかい町」 人権啓発コーナー

未だ残暑が厳しく、秋はやってくるのか。と心配です。

新型コロナウイルス感染症が流行し、これまで日常的に行われてきた活動が出来なくなってきている状況が長く続いています。

さて、今、マスク着用が日常的ですが、顔の表情がわかりません。表情が分からないと相手に気持ちが伝わらないものです。

テレビを見ていたら、いいアイデアが紹介されていました。

マスクに「笑顔」の表情が印刷されており、お店に来られたお客さんにも好印象でした。

もう一つは、「人力式車いす」です。

考案された人は、段差のある所や悪路を押して移動するのに大変だった事から考えつかれたそうです。

「押してもだめなら引いてみる」という発想です。アイデアで課題が解決。

私たちの生活や気持ちも変わるかもしれません。毎日の生活に「明るい表情とゆとり」を持たせる。

暮らしの中にアイデアを出し合いましょう。

互いに励ましあい、「人が尊重され、生きがいを感じられるあたたかい町づくり」を推進しましょう。

☎ 生涯学習課 生涯学習係 ☎0965-52-5860